



2学期を振り返って

12月を迎え、いよいよ2学期もまとめの時期となりました。例年より短い夏休みが終わり、8月18日から始まった2学期は休校中の遅れを取り戻すべく学習・行事・そして、日常の学校生活に全力で取り組んできました。9月は体育参観・10月は6年生がUSJへ修学旅行・11月は音楽参観と5年生の丹波少年自然の家への自然学校。いつも通りではありませんでしたが、「今できることを精一杯やっていく」をモットーに子どもたちはコロナの時代を生き抜いてきました。5年生・6年生は泊を伴う行事ができない中で、日帰りではありましたが、成長を感じました。音楽参観では、2学期からの取り組みで練習時間は短かったですが、各学年の日々の学習の成果を堂々と発表することができました。保護者の方に見ていただいたことは児童だけでなく教職員の中にも喜びと満足感があふれていました。6年生が「はじまりの歌」の歌詞「100年前の子どもたちもこの場所で夢を見た」と歌うのを聞き、100周年を迎える喜びと歴史の重みを感じました。子どもたちも教職員もそして、保護者の皆様もコロナ禍で多くのことに悩み考え行動してきた2020年だったと思います。私たち教職員はこの経験を行事の持ち方・学習や学校生活の仕方など今後の難波小学校のより良い学校運営に活かしていきたいと考えています。

さて、2学期を終えるにあたり、「あゆみ」についてお話しします。1学期は所見と個人懇談で学習の様子をお知らせし、評価は2学期末にするということをお伝えしていました。今年度は、新学習指導要領が全面実施され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業を進めています。その中で、新しい時代に必要となる資質・能力として「主体的に学習に取り組む態度」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の三つの柱となっています。従って評価は、これまでの領域ごとの評価ではなく、どの教科もこの3観点で行います。「主体的に取り組む態度」とは、意欲を持って粘り強く学習に取り組む態度・自らの学習を調整しようとする態度を評価します。「知識・技能」は、個々の知識技能の習得・習得した知識技能の活用について評価します。「思考力・判断力・表現力」は、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等が身についているかを評価します。子どもたちが社会や世界と関わりながらより良い人生を送るための生きる力につながるように評価していきます。子どもたちにもあゆみを渡すときに説明するとともに、評価の観点も添えますので、ご家族であゆみを見ながら話し合い、今後の学校生活の向上に活かされますよう励ましていただければ幸いです。また、粘り強く学習に取り組むためには、基本的な生活習慣が身につけていなくてはなりません。コロナの時代で長期の休校やゲーム・インターネット使用等で、生活リズムの乱れを感じます。もう一度ご家庭でも「早寝早起き朝ご飯」をご確認していただき、「主体的に取り組む態度」の育成にお力添えいただきますようご協力よろしくお願いします。